

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

会 議 名 称	令和5年度 南箕輪村大芝高原森林づくり協議会 (第2回)
開 催 日 時	令和6年1月30日 (木) 開会：午後6時 閉会：午後8時10分
開 催 場 所	南箕輪村 森の学び舎
会 長 氏 名	岡野 哲郎
会 議 事 項	次 第 1. 開 会 2. あいさつ 3. 確認事項 (1) 第1回協議会について ・決定事項 ・課題について (2) 森林の状況について ・現地検討会のまとめ ・村民アンケート、利用者アンケート結果のまとめ 4. 協議事項 (1) 総則について (2) 森林の現状について 5. その他 第3回協議会について 6. 閉会

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

会 議 経 過	別添「協議会の経過要領及び発言者の発言趣旨」のとおり
会 議 資 料	・令和5年度 南箕輪村大芝高原づくり協議会（第2回） ・確認事項資料 （1）第1回協議会について （2）森林の状況について 現地検討会での森林のあり方の意見 村民アンケート、利用者アンケート結果のまとめ ・協議事項資料 （1）総則について （2）森林の現状について 空中から視た大芝高原

	発言内容 ・ 意見
会長	【１．開会】 【２．あいさつ】 今日は、現地検討を踏まえ、更に今後の進め方も含め、どのように整備していきたいのかという議論を深めていきたい。 また、アンケートの実施結果が出た。どこが重点的に大事なのか、あるいは場所によっては、そこを利用される方々の意見を十分反映しなければいけない。 それをうまく集約していきながら、なるべく多く答えていけたらいい。
意見・質問	【３．確認事項】 (１) 第１回協議会について ・決定事項と課題について ○ 会長 協議事項進行 ○ 事務局説明 (省略) (２) 森林の現状について ・現地検討会のまとめ ○ 会長 協議事項進行 ○ 林業コンサルタント 説明 (省略)
回答	18 番がない。抜けている。
意見・質問	当日、時間の関係上カットしたが、ここは近年まで下草刈り等していたヒノキ林となっており、一旦このままでもいいと考えている場所になります。 ・村民アンケート、利用者アンケート結果のまとめ ○林業コンサルタント 村民アンケート結果 説明 (省略)
回答	回答率が若い世代で低いということですが、ランダムサンプリングで配布されているので、配布する段階で若い世代にどの位アンケートを送付したか分かりますか。
回答	63 ページに年代別性別アンケート対象者という形で記載してあり、こういう結果になっております。

意見・質問	このデータを見ると、20代30代もそれなりに配っているが、回答率が低い、関心が低い表れなのかなと思う。 若い世代の意見の関心がないというのが一番問題なのかと思いました。 ○事務局（杉本）利用者アンケート結果 説明 （省略）
意見・質問	村民アンケートと比べてここがちょっと違うというところがありますか？
回答	大体一緒という結果になりました。
意見・質問	例えば森林に対する価値観とか、整備の仕方について違いはなかった？
回答	ほとんど同じような傾向でした。
質問・意見	【4. 協議事項】 （1）総則について ○事務局説明 （省略） 大芝の森づくり憲章の大々的に打ち出すところに「アカマツが消失するという未曾有の危機にあります。」とありますが、憲章としてこの文言が相応しいのかなと。なんかもうちょっと前向きな感じで表現できるといいのではと思います。
回答	みんなが実施計画を読み始めた時に、そうだよねと思ってもらえる文章を載せたいと思って書きました。今日の協議会が終わったら確定という訳ではないのでご意見をいただけると助かります。
意見・質問	計画書はもう平成23年の頃からある。 毎年会議出る時に資料が変わって以前からあるあの資料はどこにいったのか、また新しい資料が出てくる。 計画書はどこに行ったのか、つい3年ほど前に第3回目が出たと思うがもう少し1歩でも2歩でも進めてもらって早急にやっつけていかないといけない。
回答	確かに以前からの計画は、絵に描いた餅が続いているというのが大芝の森林管理の状況でした。 なので、実施計画の中で誰がいつ何をするというのを定め、チェックをしなが

質問・意見	ら進めることが一番大事だと考えています。 今後どういう管理をしていくのか見直すというのもきちんとやっていこうと考えているところです。
質問・意見	計画の中で見るときにはやはり階層性をちゃんと捉えることが重要で、ある程度長期はちょっと難しいのですけれど、中期的なところを見据えたうえで、検討をしていただきたい。
質問・意見	PDCA サイクルと言われるものの中で人が入れ替わっても森林協議会、あるいはこの今回の協議会の様なものがしっかりとした柱を持ってそれを継続しなさいと見張っていく体制を作っていく必要がある。 どの様にその体制を作っていくのかというのも、この協議会で議論できたらいい。
質問・意見	森林協議会とこの大芝高原森林づくり協議会との違いが示されているのですが、森林協議会は一体何をしているのですか。
回答	南箕輪村森林協議会は村全体の森林に関する協議をしている。 委員の意見は十分に分かるので今後はしっかりやって行きたい。
質問・意見	森林協議会は、大芝だけでなく、村の森林全てを協議していくというのは承知しています。この協議会がありながら同じことの繰り返しというのは疑問。 しっかりお願いいたします。
回答	大芝の森林づくり協議会と森林協議会の関係ですが、大芝の協議会まず実施計画を作ることということが一番の目的ということで差別化されている。
質問・意見	前回の大芝高原森林づくり協議会の親しみある名前を募集しますというのはどうなったか。
回答	いい案が浮かばず、進めていく中で愛称を作るより、何をする協議会か分かるような説明をしながら丁寧に進めていきます。
質問・意見	今日の話を聞いたら、位置づけがわかりました。
質問・意見	現在、道沿い切られていますが、利活用等は決まっているか。

回答	村で進めている事業の学習機の天板や木育のおもちゃ等の利活用を進めています。その他は、市場へ材としての出荷が主なものです。
質問・意見	売り先が市場だけじゃないので視野を広げて対応して欲しい。
回答	基本計画の中でも大芝のアカマツが立派ですと書いてあります。 去年までは地域で高く買ってくれる方もいたが、需要は限られているのが課題。
質問・意見	大芝の森は 100 年以上前から先人たちが後世のために育ててきた全国屈指の平地林でかけがいのない村民の財産ですとある。 ついては、委員の先生方にすごい森ということを紹介していただきたい。
回答	日本は平地林が少ない。島国で非常に複雑に山岳地として入り組んでいる所です。 北海道は広いところに森林があつたりする。ただ、ここは本州である、それも日本の屋根、3,000m超える山々ある中では非常に珍しいというか貴重なもの。 非常に大きな河岸段丘が広がっているところで、地形的にも特異な場所。 植生を見ても乾燥に強いアカマツと広葉樹が混交する森林が形成される。それが独特の地形が作り出している平地林であるというだけでも貴重。 ヨーロッパは平地に大きな森があり、それは大体王室の狩猟林等で、都市産業革命によって人口の8割が都市に集まったことで、公園が初めて生まれます。 ヨーロッパの私有林っていうのは、貴族たちが持っていたものが市民に解放されたっていう経緯がある。 そういう意味でいうと、平地林である程度人口があるところでこれだけ森ができたというのは非常に珍しい。 日本はほとんど山ですから気軽に入れる林がないが、先ほども驚いたのですが、60代以上が来ている平地林になっている。 ぱっと来て、森に入った雰囲気になれるっていうのが非常に貴重な体験で、それは非常に大きな価値がある。
質問・意見	伐採中の区域にちょうど直径が1m位ある100年物の松がある、それをなんとか1m位のところで切って置いておくのはどうか。 しゃがんで見るのと目線のとこで見るのとは違う、一つの標本という形で1本か2本残してもらえばありがたい。

回答	そういうのがあると非常に分かりやすい。
質問・意見	(2) 森林の現状について ○ 林業コンサルタント 説明 (省略) 多分これだけでは森林の現状を示せないと思う。 高木層に注目していて、いわゆる林業のための森林の現状。 大芝を利用されている方にとっての森林というのは高木層だけでなく、低木層、目のラインのところも含めて森林の現状であり、そこを拡充していかないとまだ情報が足りない。
回答	いずれアカマツを切らなければいけない時にアカマツを処理していく上でのゾーニングの計画には使える情報だと思います。 令和2年に作成した基本計画の調査の中で大芝高原に生育する亜高木5m以上になる項目、草本から下層植生のリストも作っているので参考にしていきます。
質問・意見	現在実施しているマツ枯れの木の伐採作業の期限と場所をお聞きしたい。 今後も含め決まっている作業内容と場所をお聞きしたい。 もう一点は、みんなの森の南側の歩道がかなり荒れてきて非常に歩きにくい状態になっている。
回答	伐採は広範囲でやっていますので大芝高原の部分は改めて資料提供させていただきます。 みんなの森の南側は大雨の時ウッドチップが流されてしまう場所があります。 再度流される恐れがあり、対応していく予定です。
質問・意見	森林の現状と言った時、そこには動物も虫達も多数生息していて、どこまで我々が把握した上で検討していくのか。 とても膨大なことになるが、住める環境と住めない環境もあるわけで、どこまで把握した上で検討を進めていくのか。
回答	非常に大事ですが、総合調査が必要で難しい問題です。 なかなか今回どこまで取り込めるか難しいが、植生が変わると動物も変わるし、虫も変わると思うが、長期でモニタリングされていたかってこともあります。 環境の多様性を高めるしかないと思います。環境多様性を高めることは、生物多様性も高まるということはあると考えています。

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

	【 5 . その他 】 第 3 回協議会について ○事務局説明
	【 6 . 閉会 】 ○20 : 10 副会長 閉会